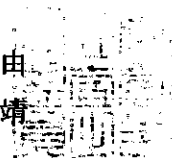


伊豆市監査委員告示第6号

地方自治法第199条第7項の規定に基づき財政援助団体等監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり公表する。

令和3年7月5日

伊豆市監査委員 渡邊 光由
伊豆市監査委員 青木 靖



1 監査の種類及び対象

(1) 財政援助団体の監査

所在地 伊豆市青羽根 89
名称 特定非営利活動法人 伊豆市スポーツ協会
所管課名 教育部社会教育課

(2) 指定管理者の監査

対象施設 中伊豆室内温水プール「ふれっふ」(伊豆市上白岩 828-2)
指定管理者 伊豆の国市北江間 1164-1
有限会社 伊豆スイムサポート
所管課名 教育部社会教育課

2 監査の範囲

令和2年度に財政的援助を与えている団体及び公の施設の指定管理者である団体の当該事業に係る収入支出その他の事務の執行状況

3 監査の期日

令和3年5月27日(木)

4 監査の方法

提出された監査資料に基づき、関係者から説明を受けた後、事情聴取及び関係書類の審査を行った。

5 監査の結果

今回監査を実施した範囲における出納及びその他の事務事業については、概ね適正に管理されているものと認められた。

当該監査結果における意見・要望事項は、次の6のとおりである。

6 意見・要望事項

(1) 特定非営利活動法人 伊豆市スポーツ協会

令和2年度決算の収入は、事業収入 58,978,385 円（前年比 69.9%）、収入の内訳として市補助金 878,000 円（前年比 106.0%）、会費 470,000 円（前年比 91.3%）、指定管理料 9,294,000 円（前年比 45.9%）、施設管理受託料 11,823,900 円（前年比 211.5%）、事業受託金 3,875,950 円（前年比 77.1%）、施設利用料 19,730,250 円（前年比 40.0%）、事業収入 1,801,560 円（前年比 66.5%）と雑収入 11,104,725 円（前年比 5,123.5%）である。支出は、事業支出 58,611,369 円（前年比 68.4%）、内訳として人件費等 29,780,565 円（前年比 78.3%）、事業費 28,271,298 円（前年比 60.2%）、と負担金等 559,506 円（前年比 73.5%）が支出されている。

令和2年度の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、野球連盟修善寺支部以外は活動中止、父親ソフトボール、高校男子ソフトボールサマーキャンプ、ソフトバレーボール大会、地区対抗ソフトボール大会、高校女子ソフトボール大会、少年柔道大会のすべてが中止となった。ペタンク大会、メジャーマクレソフトボール大会及びしずおか市町対抗駅伝大会は実施された。市町対抗駅伝大会の結果は今一つであったが、選手候補者が箱根駅伝にエントリーされ、選手として走り、このコロナ禍で明るい話題となったとのこと。令和元年度は、指定管理者として修善寺グラウンドを管理していたが、修善寺体育館の閉鎖に伴い、令和2年度から市からの管理を受託している。スポーツ協会加盟団体の殆どが活動を自粛していることから、令和2年度は、活動補助金を半額支給でお願いし支給している。

市の方も施設の管理について検討している。新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのか心配だが、今年、来年ぐらいはこのような形になるのではと思われる。ふるさと広場の施設はかなり広く、年々老朽化も進んでいく。施設の管理に関しては、所有者である市と検討しながらこの大変な時期を乗り越えていただきたい。また加盟団体の正確な会員数の把握はとても大切なことである。難しい事もあるかもしれないが、この把握に努めていただきたい。

(2) 有限会社 伊豆スイムサポート

令和2年度決算の収入は、事業収入 58,039,025 円（前年比 87.1%）、収入の内訳として市委託料 18,000,000 円（前年比 100.0%）、利用料 11,697,942 円（前年比 79.0%）、その他収入 1,978,675 円（前年比 283.6%）、自主事業収入 26,362,408 円（前年比 79.6%）、支出は、事業支出 57,436,748 円（前年比 87.7%）、内訳として維持管理運営費 34,903,141 円（前年比 86.9%）、と主事業経費 22,533,607 円（前年比 89.0%）が支出されている。

平成12年4月から同社で管理運営委託を受諾し、平成18年度から指定管理者として管理運営業務を行っている。利用料は、伊豆市運動施設条例で定められている一般 410 円、児童生徒 210 円、毎日利用可能なリバーサイド会員については、入会金 1,100

円、月会費 4,400 円を設定し、営業時間内いつでも利用できる。

令和 2 年 4 月、5 月に天井の化粧板が劣化により落下した。落ちそうなものはすべて落としたが、対策が必要となり 4 月を休館とした。5 月は新型コロナウイルス感染症の影響で 1 月間休館となった。休館以後の利用者数はかなり減っており、令和元年度と比較すると約 10,000 人減っている。

選手育成に関しては 2 名が対応しており、これまでジュニアオリンピックの入賞者も輩出している。また安全対策として、監視は常に救急救命の資格を持つ 3 人で行っており、マニュアルも作成し、また、咄嗟の行動に役立つよう、事務所内の目に付く場所に掲示をしている。

天城温泉プールも閉館し、伊豆市の貴重なプールである中伊豆温水プール「ふれっぷ」を開始当初から管理運営している業者であり、伊豆市出身の優秀なスイマーも輩出していることから、この先も大いに期待したい。また、一般市民の利用では、健康維持の面における効果も期待出来ると思われる。

伊豆市内の中学校にはプールも水泳の授業もなく、3 年間のブランクのまま高校での授業に臨むため生徒たちのハンディが大きく、父兄の希望もあり、休館日の月曜日を開放し指導しているとのこと。

これからも市民の健康や運動不足の解消にご教授いただき、小学生からの指導育成面では、中体連・インターハイ等で活躍できるような選手輩出を期待しています。

7 監査の概要

(1) 特定非営利活動法人 伊豆市スポーツ協会

- ① 監査の種別 財政援助団体等
- ② 収支決算状況（令和 2 年度）

(1) 収入

科 目	令和 2 年度	令和元年度	比較 (%)
1 市補助金	878,000 円	828,000 円	106.0
2 会費	470,000 円	515,000 円	91.3
3 指定管理料	9,294,000 円	20,239,000 円	45.9
4 施設管理受託料	11,823,900 円	5,591,700 円	211.5
5 事業受託金	3,875,950 円	5,024,865 円	77.1
6 施設利用料	19,730,250 円	49,269,353 円	40.0
7 事業収入	1,801,560 円	2,710,159 円	66.5
8 雑収入	11,104,725 円	216,739 円	5,123.5
合 計	58,978,385 円	84,394,816 円	69.9

(2) 支出

科 目	令和2年度	令和元年度	比較 (%)
1 人件費等	29,780,565 円	38,010,017 円	78.3
2 事業費	28,271,298 円	46,967,935 円	60.2
3 負担金等	559,506 円	761,639 円	73.5
合 計	58,611,369 円	85,739,591 円	68.4

(2) 有限会社 伊豆スイムサポート

① 監査の種別 指定管理者

② 指定管理の目的

市民の健康の増進を図り、有意義な余暇活動を促進し、併せて市民の連帯意識を高める拠点施設として中伊豆温水プールを管理運営する。

③ 指定管理施設 中伊豆温水プール

④ 指定管理期間 平成18年4月1日から令和6年3月31日まで 18年間

⑤ 指定管理料 18,000,000 円